

平成30年度

第2回 宇都宮市国民健康保険運営協議会 会議録

1 日 時 平成30年10月18日(木) 午後4時30分～

2 会 場 宇都宮市役所14階 14A会議室

3 出席委員

被保険者代表

黒子 英明 委員 渡辺 通子 委員 浜野 達哉 委員

山森 睦美 委員 大根田 博章 委員 鈴木 信次 委員

保険医・保険薬剤師代表

片山 辰郎 委員 小林 健二 委員 長谷川 英一 委員

石崎 一郎 委員

公益代表

福田 智恵 委員 馬上 剛 委員 塚田 典功 委員

大貫 隆久 委員 檜山 和子 委員 上野 元子 委員

笹川 陽子 委員

被用者保険代表

宮崎 努 委員 関川 隆雄 委員

(以上19名)

4 欠席委員

被保険者代表

相良 利和 委員

保険医・保険薬剤師代表

齋藤 公司 委員 金子 達 委員 北條 茂男 委員

被用者保険代表

小山田 静子 委員

(以上4名)

5 出席職員

保健福祉部長	石岡 和男	保健福祉部次長	緒方 秀徳
保険年金課長	小林 正典	保険年金課長補佐	石井 三士
管理グループ係長	関本 耕司	国保給付グループ係長	目黒 淳一
国保税グループ係長	中村 昇	収納グループ係長	佐藤 淳
滞納整理グループ係長	岩崎 豊弘	国保給付グループ総括	斎藤 幸子
国保税グループ総括	鈴木 加代	収納グループ総括	大友 治
滞納整理グループ総括	加藤 尚	健康増進課長	阿部 龍之
健康増進課長補佐	石川 直樹	企画グループ係長	岡川 秀則
健康づくりグループ係長	吉田 琴	健康診査グループ係長	齋藤 順子

6 会議録署名委員

渡辺 通子 委員 長谷川 英一 委員 (議長指名)

7 付議事項

(1)協議事項

- ・協議第1号 「(仮称)第2次宇都宮市国保経営改革プラン」(素案)の策定について
- ・協議第2号 国民健康保険税の課税限度額の見直しについて

(開会 午後4時25分)

【事務局】 それでは定刻より前ですが、皆様お揃いですので、ただ今から、平成30年度第2回宇都宮市国民健康保険運営協議会を開会いたします。私は保険年金課管理グループ係長の関本と申します。どうぞ、よろしく願いいたします。はじめに、会議の定足数について御報告いたします。本協議会の定数は、24名であります。本日出席されております委員は、

規則に定めます半数以上の委員が出席されており、会議の定足数を充たしておりますので、本会議が成立していることを、事前に御報告させていただきます。

それでは、塚田会長、議事の進行をよろしく願いいたします。

【会 長】 それでは、早速ですが、会議次第に従いまして、進めて参ります。

まず、はじめに、次第1の(1)の会議録署名委員の選出を行います。宇都宮市国民健康保険規則第13条第4項の規定により、会議録に署名すべき委員は、議長のほか2名を議長が会議に諮って定めることになっておりますので、渡辺通子委員と長谷川英一委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委 員】 (異議なしの声)

【会 長】 御異議ございませんので、今回の会議録署名委員は、渡辺通子委員と長谷川英一委員にお願いいたします。

次に、次第の2の議事に移りまして、(1)協議事項の、協議第1号「(仮称)第2次宇都宮市国保経営改革プラン」(素案)の策定について、を事務局から説明をお願いします。

【事務局】 (資料に基づき説明)

【会 長】 事務局の説明が終わりました。それでは、本計画(素案)について、現状の課題の整理、施策の目標の設定、施策の方向性について、ご意見・ご質問がございましたら、お願いします。

【委 員】 4ページの「4 本市国保の現状」「コ 保険者努力支援制度の取組状況」のところに、県内25市町中15位という記載があるのですが、この部分について教えてください。

第1位の市と15位である宇都宮市では、何が違うのでしょうか。収納率や検診など色々な意味での点数評価が違うとは思いますが、1位と15位とで何が大きな違いになっているのか、そこを教えてくださいたいと思います。

【事務局】 こちらにつきましては、資料編としてお付けしました冊子、参考6の30ページと31ページをご覧ください。31ページにありますのは、平成30年度の県内順位のグラフ

となります。県内市町の名前の下に、順位が書いてあるのですが、1位が左から8番目にあります真岡市で570点、2位が右から9番目にあります下野市で569点という状況です。主なものを申し上げますと、特定健診の受診率ですとか、収納率向上に関する取組の実施状況といったところで差が出ております。また、順位が低いところだと、25位が左から5番目の鹿沼市、24位が右から8番目の野木町と、300点前後の点数という状況になっております。本来ならばカラーでお見せ出来ればというところ、白黒のため見づらくて大変申し訳ないのですが、下の凡例に基づいて各項目の点数の状況がグラフ化されております。こちらにつきましては以上です。

【会 長】 よろしいでしょうか。ほかにございますか。

【委 員】 4ページの「5 本市国保の課題」にあります、「1 収納率向上」の件で、被保険者としてお願いがあります。昨年度の運営協議会でもお伝えしたのですが、全納や口座納付をした場合の保険税の割引をしていただければと思います。確かに税収が落ちているという状況も分かるのですが、資料にも記載されている、納税意識の高揚や納税環境の整備、また、公平性を考えると、きちんと全納する方や口座納付で協力する方に対し、何かインセンティブをつけると、より一層納付しようと思えますし、滞納している方にも、全納すると割引があるということを伝えると、説得がしやすくなるのではと思います。

【会 長】 その質問に関しましては、以前もご質問され、事務局から回答があったかと思えます。今回は要望ということでよろしいでしょうか。

【委 員】 はい。要望というかたちでお願いします。

【会 長】 そういった意見も踏まえて検討していただくということで、お願いいたします。ほかにございますか。

ないようですので、協議第1号「(仮称)宇都宮市国保経営改革プラン」(素案)の策定について、につきましては、今回の事務局案をベースに、次回の本協議会において、計画書の案を事務局から提示していただくということでよろしいでしょうか。

【委員】（意義なし）

【会長】 御異議がありませんので、引き続き、事務局においては、本年度中の計画の策定に向けて、作業を進めていただきたいと思います。

次に、協議第2号「国民健康保険税の課税限度額の見直しについて」を事務局から説明願います。

【事務局】（資料に基づき説明）

【会長】 事務局の説明が終わりました。御意見、御質問がございましたら、お願いします。

【委員】（質疑応答なし）

【会長】 よろしいでしょうか。ここで協議第2号について皆様にお諮りしたいと思います。

課税限度額につきましては、事務局案のとおり「政令の限度額まで引き上げを行う」ことでよろしいでしょうか。

【委員】（意義なし）

【会長】 御異議がありませんので、協議第2号は事務局案のとおり了承されました。

それでは、只今の皆様からのご意見をもとに、課税限度額については引き上げといたしますが、本日の内容を本協議会の意見として、来年の2月とはなりますが、市長へ意見書を提出したいと思います。具体的な文面につきましては私に一任していただくということで、皆様よろしいでしょうか

【委員】（意義なし）

【会長】 ご異議ございませんので、そのようにさせていただきます。

それでは次に、議事の(2)「その他」に移ります。委員の皆様から、何かありましたら、お願いいたします。

【委員】 協議第1号のことになりますが、施策の方向性につきまして、生活習慣病の早期発見・発症予防対策というお話がありました。これは予防医学でも大切なことなのですが、良い生活習慣を継続すれば病気になりにくいし、悪い生活習慣を継続すれば病気になる、これ

は当然のことなのですけれど、できれば、早期介入という言葉があると良いかなと思います。子どものうちから良い生活習慣を身につけることによって、30年後・50年後の国保の運営というものに反映されますので、できれば早期介入という言葉を入れていただければ、さらに良いかなと思いましたが、よろしくお願いいたします。

【事務局】 ご意見ありがとうございます。確かにその通りでございまして、国民健康保険の中で、こちらで取り扱っている特定健康診査・特定保健指導などは、40歳からとなっておりますが、30代などの若い年齢から症状があらわれている方もおり、未然に防ぐということもございますので、そういった文言につきましては、こちらに付け加えるようなかたちで、工夫したいと思えます。

【会長】 よろしいでしょうか。貴重なご意見ありがとうございます。ほかにありますでしょうか。

【委員】 今の委員のご意見に追加してといいますか、事務局の説明で30代というお話もありましたが、現在は0次予防ということも言われているところで、妊娠期からお腹に身ごもった頃からしっかりと検査、あるいは健康づくりをしていく必要があると言われておりまして、出生時の体重が低体重であると、肥満体質になっていく傾向が見られるというデータもありますので、もっと低い年齢、本来はヘルスリテラシーという教育は、子どもの頃からしっかりとやる必要があると思えますし、0次予防の視点も取り入れる必要があると感じています。具体的な施策のイメージは、次回の運営協議会で協議が持たれるということだったので、審議の際にはお話ししませんでした。こちらも念頭に入れて、今後施策を講じていただきたいと考えております。

【会長】 0次予防や健康教育が非常に大切だと言われておりますので、今伺ったご意見を含め、施策に反映できるようにお願いいたします。ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、次に、大きな3の「その他」に移ります。議事以外のことで、まず、委員の皆

様からは何かありましたら、お願いいたします。

【委員】 (質疑応答なし)

【会長】 事務局からは、何かありますか。

【事務局】 次回の会議日程についてご案内いたします。第3回目の会議は、来年の2月14日(木)に、開催を予定しております。詳細につきましては、日程が近づきましたら、ご連絡させていただきます。事務局からは以上でございます。

【会長】 他にありませんか。

ないようですので、これをもちまして本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。では、事務局へお返しいたします。

【事務局】 塚田会長、そして委員の皆様 本日は、ありがとうございました。

これで、平成30年度第2回宇都宮市国民健康保険運営協議会を閉会いたします。

(閉会 午後5時10分)

この会議録に相違ないことを証するため、ここに署名いたします。

宇都宮市国民健康保険運営協議会

会 長 塚田 典功

委 員 渡辺 通子

委 員 長谷川 英一